

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成24年10月18日 (2012.10.18)

【公開番号】特開2010-95724(P2010-95724A)

【公開日】平成22年4月30日 (2010.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-017

【出願番号】特願2009-240361(P2009-240361)

【国際特許分類】

C 0 8 L 15/00 (2006.01)

C 0 8 L 9/06 (2006.01)

C 0 8 F 236/06 (2006.01)

C 0 8 F 212/08 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 15/00

C 0 8 L 9/06

C 0 8 F 236/06

C 0 8 F 212/08

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月31日 (2012.8.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 少なくとも 1 つのジエンをベースとし、かつ 1 つ以上のビニル芳香族モノマーから構成される繰り返し単位から構成されるポリマー鎖を有する少なくとも 1 つの官能化ジエンゴムと、(B) トルエン中の膨潤指数が 1 ～ 2.5 であり、かつ粒径が 5 ～ 1000 nm である少なくとも 1 つのスチレン／ブタジエンゴムゲルと、また (C) 適切な場合、さらなるゴム、フィラーおよびゴム助剤を含むゴム混合物。

【請求項 2】

前記官能化ジエンゴムが 1, 3-ブタジエンおよびスチレンをベースとする繰り返し単位から構成され、そしてヒドロキシおよび／またはカルボキシ基を用いて官能化されたものであることを特徴とする請求項 1 に記載のゴム混合物。

【請求項 3】

40 ～ 100 重量%の 1, 3-ブタジエンと 0 ～ 60 重量%のスチレンとから構成され、そして結合した官能基および／またはこれらの塩の割合が、ジエンゴムの 100 重量%を基準として、0.02 ～ 5 重量%であることを特徴とする請求項 2 に記載のゴム混合物。

【請求項 4】

ゴムの総量の 100 重量部を基準とする、前記スチレン／ブタジエンゴムゲルの割合が 1 ～ 100 重量部であることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のゴム混合物。

【請求項 5】

ゴムの総量の 100 重量部を基準とする、前記スチレン／ブタジエンゴムゲルの割合が 5 ～ 75 重量部であることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のゴム混合物。

【請求項 6】

前記スチレン／ブタジエンゴムゲルが、ヒドロキシエチルメタクリレート、ヒドロキシプロピルメタクリレート、ヒドロキシブチルメタクリレート、エチレングリコールジメタクリレート、トリメチロールプロパントリメタクリレートおよび／またはペンタエリスリトールテトラメタクリレートを含む、XSBR－スチレン／ブタジエンコポリマーおよびグラフトポリマーであることを特徴とする請求項 1～5 のいずれか一項に記載のゴム混合物。

【請求項 7】

少なくとも 1 つの官能化ジエンゴムが、少なくとも 1 つのスチレン／ブタジエンゴムゲルと、適切な場合、さらなるゴム、フィラーおよびゴム助剤と 20～220℃の温度で混合装置にて混合されることを特徴とする請求項 1～6 のいずれか一項に記載のゴム混合物の製造方法。